

參考資料

# 独立行政法人造幣局

# 造幣局の概要

(1) 設 立 平成15年4月1日（明治2年創設）

(2) 主事務所 大阪市北区天満（大阪所在の唯一の本局）

※ 明治新政府により設置されて以来、商業の都大阪に深く根付いており、歴史と伝統を有している。

(3) 役職員数（平成25年4月1日現在）

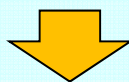
・914名

(4) 主な業務

- 貨幣の製造・販売・鋳つぶし
- 勲章・褒章・賜杯・記章・極印・金属工芸品の製造
- 貴金属の品位証明 等

(5) 意義

- 財務大臣の定める貨幣製造計画に基づく安定的かつ確実な貨幣の製造
- 財務大臣、内閣総理大臣からの緊急要請への対応 等



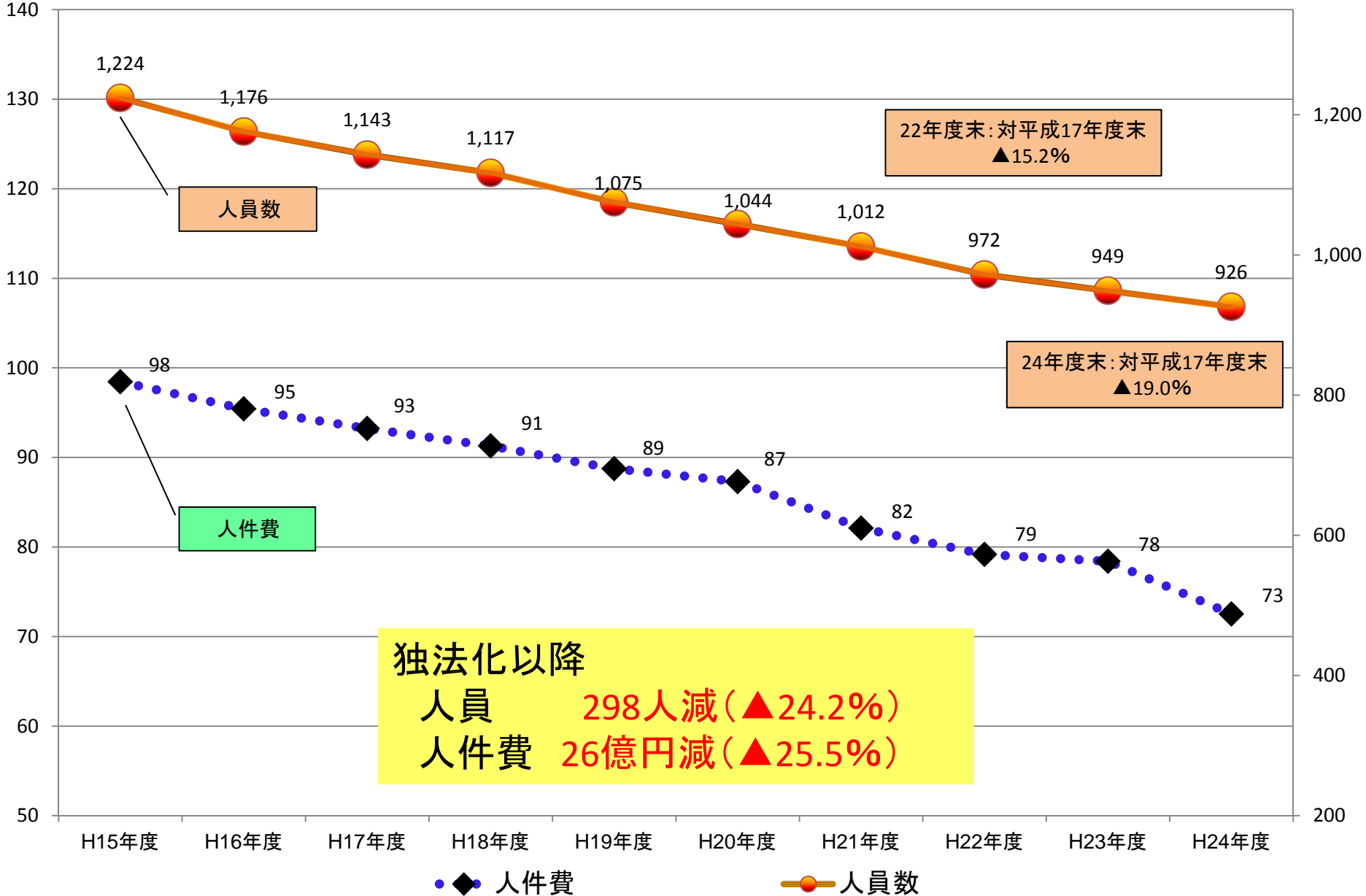
- ★国民経済にとって必要十分な量の貨幣を安定的かつ確実に製造
- ★高度な偽造防止技術の研究開発による極めて低い偽造発生率

国との密接な連携を図りつつ、「通貨に対する信頼の維持」を確保

# 造幣局の人員、人件費の推移

(単位: 億円)

(単位: 人)



22年度末: 対平成17年度末  
▲15.2%

24年度末: 対平成17年度末  
▲19.0%

**独法化以降**  
 人員      298人減 (▲24.2%)  
 人件費   26億円減 (▲25.5%)

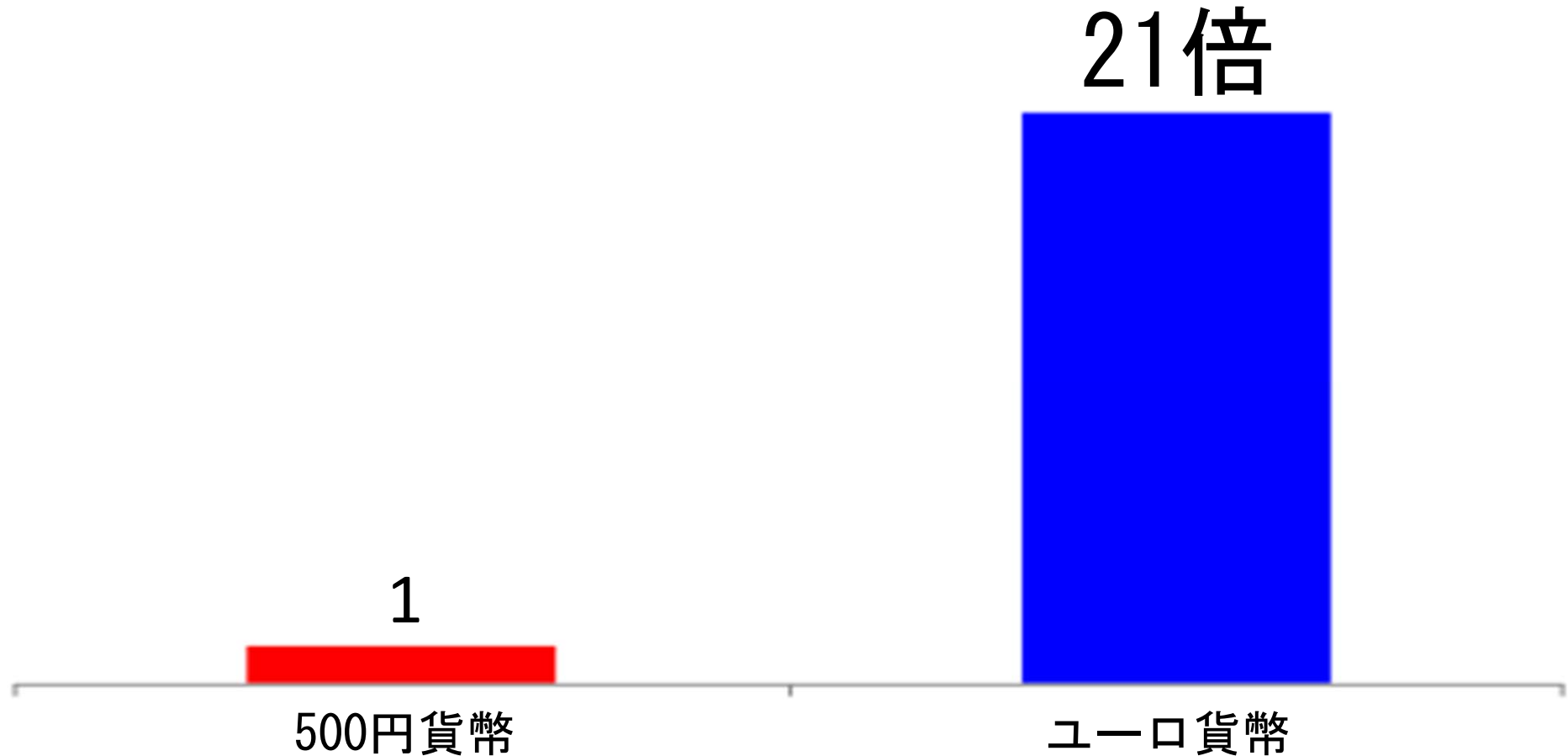
## 国庫納付実績

(単位:億円)

	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度 (7月末まで)	合計
金銭納付	63	—	27	21	—	22	132
現物納付	—	—	—	10	—	2	12
合計	63	—	27	31	—	24	144

(注)貨幣販売納付金を除く

## 偽造貨幣発見枚数割合(500円貨幣を1とした割合)



(資料) 日本銀行HP、警察庁HP、欧州連合HP及び欧州中央銀行HPの公表資料等から作成

500円貨幣 流通量(2012年末: 36.3億枚) 発見枚数(2012年: 1,872枚)

ユーロ貨幣 流通量(2012年末: 167.4億枚) 発見枚数(2012年: 183,200枚)

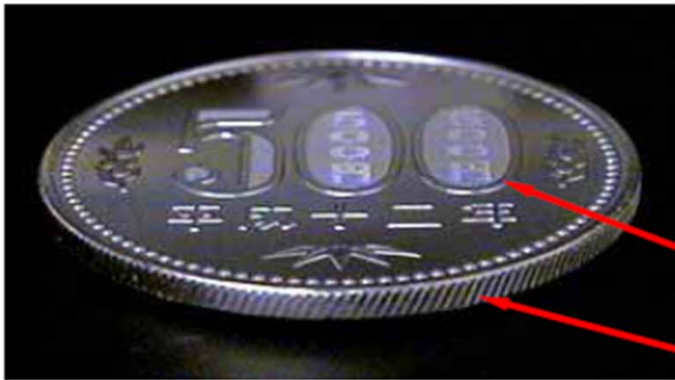


# 500円貨の偽造防止技術

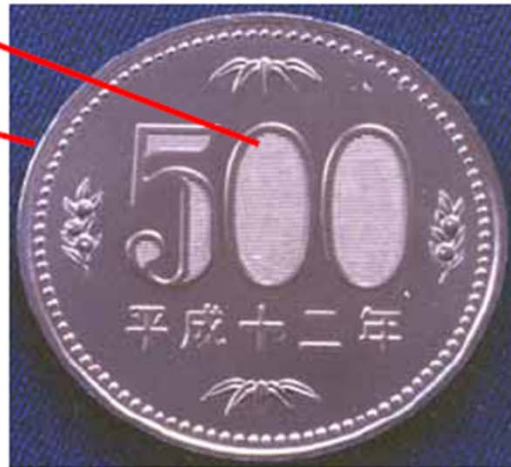
貨幣の偽造・変造対策として、500円ニッケル黄銅貨幣には最新の偽造防止技術が採用されています。

1. 見る角度によって、数字等が見え隠れする潜像加工
2. 大量生産型貨幣では世界初の斜めギザ
3. 複製加工対策としての微細点加工
4. 切削加工の限界に挑んだ微細線加工

1. 潜像



2. 斜めギザ



3. 微細点



4. 微細線

# 500円貨幣 緊急改鑄の例(平成12年)

## 韓国500ウォン貨幣を使った変造500円貨幣の出現

- ・材質、直径、厚さが同じであった韓国500ウォン貨幣を使った変造500円貨幣が出現。特に平成9年以降急増した。
- ・自販機メーカーにおいても、貨幣を見分けるセンサーの精度を上げるなど対策を講じたが、有効な対応とならなかったため、平成11年秋頃から、500円貨幣を使用停止とする自販機が急激に増加するなど、社会問題化した。

年	認知件数	発見枚数	被害金額
平成 9年	約11,100件	約166千枚	約8300万円
平成10年	約18,500件	約273千枚	約1億3700万円
平成11年	約54,000件	約820千枚	約4億1000万円
<b>合計</b>	<b>約83,700件</b>	<b>約1259千枚</b>	<b>約6億3000万円</b>

変造500円貨幣



## 緊急改鑄の必要

## 500円貨幣 緊急改鑄のスケジュール

- ・平成11年12月 3日 大蔵省・警察庁より、500円貨幣の改鑄を公表
- ・平成11年12月27日 大蔵省より新500円貨幣の形式等について対外発表
- ・平成12年 1月28日 「通貨の単位及び貨幣の発行等に関する法律施行令の一部を改正する政令」が公布され、素材(ニッケル黄銅)、品位(銅72%、ニッケル8%、亜鉛20%)、量目(7g)、直径(26.5mm)と新500円貨幣の形式が決定される。
- ・平成12年 4月 3日 製造開始
- ・平成12年 5月15日 発行開始
- ・平成12年 7月 6日 大蔵省より、新500円貨幣の支払開始日を報道発表
- ・平成12年 8月 1日 支払開始(流通開始)

新500円貨幣



※ 種印開発段階で休日出勤2交替勤務の実施、また、圧印機を有効利用するため2交替で対応。